

2023

9

東京フィルの

秋の コンサート。

第98回 休日の午後のコンサート

2023年9月3日(日)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール
〈コバケンのベートーヴェン!〉

第19回 渋谷の午後のコンサート

2023年9月18日(月・祝)14:00開演
Bunkamura オーチャードホール
〈秋の大感謝祭〉





©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第98回

休日の午後のコンサート

2023.9.3(日) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Sun. Sep. 3, 2023, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈コバケンのベートーヴェン!〉 〈Kobaken's Beethoven!〉

指揮とお話 小林研一郎 Ken-ichiro Kobayashi, conductor & speaker

ピアノ 中川優芽花* Yumeka Nakagawa, piano ※当初の発表から変更となっております。

司会 朝岡 聡 Satoshi Asaoka, MC

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

ベートーヴェン：劇音楽『エグモント』序曲（約10分）

Beethoven: Overture to "Egmont" (ca. 10 min)

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番『皇帝』*（約38分）

Beethoven: Piano concerto No. 5 "Emperor" (ca. 38 min) ※当初の発表から変更となっております。

— 休憩 intermission —

ベートーヴェン：交響曲第6番『田園』より第1楽章（約12分）

Beethoven: 1st movement from Symphony No. 6 "Pastorale" (ca. 12 min)

ベートーヴェン：交響曲第7番より第2楽章（約8分）

Beethoven: 2nd movement from Symphony No. 7 (ca. 8 min)

ベートーヴェン：交響曲第3番『英雄』より第4楽章（約12分）

Beethoven: 4th movement from Symphony No. 3 "Eroica" (ca. 12 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話 小林研一郎

Ken-ichiro Kobayashi, conductor & speaker

東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブタベスト国際指揮者コンクール第1位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング『わが祖国』を指揮して万雷の拍手を浴びた。これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ：<http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



©山本倫子

ピアノ 中川優芽花

Yumeka Nakagawa, piano

現在21歳、ドイツに生まれ育った日本人ピアニスト。2021年、スイスで開催された権威あるクララ・ハスكيل国際ピアノ・コンクールで優勝及び聴衆賞ほか併せて獲得。2014年にドイツ連邦青少年音楽コンクールで満点を獲得して優勝。同年ワイマールの若いピアニストの為のフランツ・リスト国際コンクールで第2位を獲得。近年ではロベルト・シューマン国際コンクール(2019)およびイエネ・タカーチ国際コンクールにも優勝。クリスティアン・ツァハリアス指揮によるベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番などオーケストラとの共演の機会も増え、ヴェルビエ音楽祭にアカデミー生として出演。現在フランツ・リスト音楽大学でグリゴリー・グルズマン教授のもと研鑽を積んでおり、公益財団法人ロームミュージックファンデーションから支援を受けている。



©Susanne Diesner

司会 朝岡 聡

Satoshi Asaoka, MC

慶應義塾大学卒業後、テレビ朝日のアナウンサーとして活躍。フリーになってからは、テレビ・ラジオ・CM出演の他、クラシックやオペラ・コンサートの司会や企画構成など、コンサート・ソムリエとしてフィールドを広げ、芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。著書に『いくぞ! オペラな街』(小学館)、『恋とはどんなものかしら 歌劇(オペラ)的恋愛のカタチ』(東京新聞出版局)など。日本ロッシーニ協会副会長。東京藝術大学客員教授。



プログラム・ノート

解説=柴田克彦

ベートーヴェンの多彩な音楽を堪能

今回の「休日の午後のコンサート」のテーマは〈コバケンのベートーヴェン!〉。“炎のマエストロ”小林研一郎が、ご存知ウィーン古典派の巨匠**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン**(1770-1827)の名作を披露します。

前半は、『エグモント』『皇帝』と、序曲及び協奏曲の代表作が並んでいます。ここは劇的な“ベートーヴェンらしい”音楽を堪能しましょう。後半は、交響曲の有名な楽章をピックアップ。こちらは、のどかな『田園』の第1楽章、美しく哀愁を帯びた第7番の第2楽章、当時の交響曲には珍しい変奏曲の『英雄』の第4楽章と、ベートーヴェンの様々な側面を端的に知ることができます。

2007年から21年までほぼ毎年大晦日に全9曲の交響曲を指揮し、東京フィルでも再三演奏するなど、コバケンにとってベートーヴェンは永遠の大重要レパートリー。情熱や活力に余情や滋味を加えた、ベテラン・マエストロの円熟の表現にも注目したいところです。



マエストロ“コバケン”の十八番ベートーヴェンの世界を円熟の指揮と語りでお楽しみください

悲劇の英雄を描いた劇音楽が凝縮した序曲

幕開けは劇音楽『エグモント』序曲。1810年、ドイツの文豪ゲーテ作の同名戯曲のために書かれた序曲です。エグモントは16世紀に実在したオランダ独立運動の指導者。ゲーテは、スペインの圧政に対抗したこの悲劇の英雄の史実に、恋人クレールヒエンなどの脚色をまじえて、物語を創作しました。当戯曲のウィーン初演にあたり、宮廷劇場からの依頼で書かれたのが劇音楽『エグモント』。ゲーテを敬愛するベートーヴェンは意欲的に取り組み、序曲と9曲の音楽を完成しました。現在それらが全曲演奏される機会は少ないのですが、傑作の誉れ高い序曲は単独で頻繁に演奏されています。

曲は、荘重な序奏で開始。アレグロの主部に移ると、不安と穏やかな感情が交錯します。そして英雄を讃えた輝かしいコーダ(結尾部)へ。ベートーヴェンらしく暗から明へ至るこの序曲には、劇全体のテイストがコンパクトに凝縮されています。

ピアノと管弦楽の絶妙な対話が織りなす協奏曲

前半のメインはピアノ協奏曲第5番『皇帝』。1809年にベートーヴェンが完成した最後の協奏曲であり、耳の病を乗り越えて幾多の名作を生み出した、“傑作の森”と呼ばれる創作中期の代表作のひとつです。『皇帝』のタイトル



ベートーヴェンの肖像(1803年、クリスチャン・ホルネマン作)

は、ベートーヴェン自身の命名ではなく、後に出版者が名付けた愛称ですが、曲にまさしくフィットしています。

本作は、当時の協奏曲としては異例なほどシンフォニックな響きをもった大曲。第1楽章冒頭から華麗なピアノ・ソロが登場する点が大きな特徴で、これが曲の印象を決定付けます。協奏曲では通例だった長い名人芸的なカデンツァ(ソリストが自由なソロを披露する部分)などもはや不要とばかりに、自

ら短いカデンツァを記した点も特筆され、そこには首尾一貫した音楽にしようというベートーヴェンの意図がうかがえます。全体に、ピアノと管弦楽が交響曲的な融合と絶妙な対話を成していく、壮麗でエネルギッシュな音楽です。

第1楽章：アレグロ。ピアノが広々としたソロを奏でる開始の後、行進曲調の第1主題と歯切れの良い第2主題を軸に、華やかな楽想が展開されます。全曲の約半分を占める長大な楽章。

第2楽章：アダージョ・ウン・ポーコ・モツソ。穏やかな主題が変奏をまじえながら流れていく、柔和で幻想的な緩徐楽章。切れ目なく第3楽章へ。

第3楽章：ロンド、アレグロ。冒頭の勢いある主題を軸にした勇壮なフィナーレ。ピアノの名人芸も発揮されます。

自然に身を置いた人間の佳き“感情”

後半最初は**交響曲第6番『田園』より第1楽章**。1808年に第5番『運命』と相前後して完成されたこの曲も、中期“傑作の森”の一角を占めています。ウィーン郊外の(当時の)田舎ハイリゲンシュタットで主に作曲されており、音楽全体にベートーヴェンが好んだ当地の風物が反映されているとみられています。なお『田園』は、『運命』や『皇帝』とは違って本人の命名です。本作には、



ベートーヴェンが住んだハイリゲンシュタットの家の近くにある聖ヤコブ教会 ©stock.adobe.com

全5楽章の構成、第3～5楽章が続けて演奏される点などの新機軸が盛り込まれていますが、やはり最大の特徴は、内容を示す言葉が各楽章に記され、それに即した音楽が展開される「標題交響曲」の元祖的存在であること。これは来るロマン派の音楽に大きな影響を与えました。ただし、ベートーヴェン自身は「描写というよりもむしろ感情の表現である」と語っています。

それをよく表したのが、「田舎に到着したときの愉快的感情の目ざめ」と記された**第1楽章(アレグロ・マ・ノン・トロppo)**。まさしく自然に身を置いた人間の佳き“感情”を表現した牧歌的な音楽で、冒頭に奏される民謡風の主題を中心に進行します。

「不滅のアレグレット」とも呼ばれる名楽章

おつぎは**交響曲第7番より第2楽章**。第7番は、中期後半に第8番と相前後して生み出された人気交響曲です。1812年にほぼ完成。1813年12月の初演で大成功を収め、楽聖の生前における最大のヒット交響曲となりました。9曲の交響曲1曲ごとに新たな試みを行ったベートーヴェンがここで打ち出したのは、リズムの徹底的な強調。これをワーグナーは“舞踏の神化”と形容しました。本作では、各楽章に一定のリズム・パターンが設けられ、それを終始強調することで推進力と生命力が生み出されます。

第2楽章(アレグレット)は、「タータタ・ターター」の動きが基本的なリズム・



ベートーヴェンの肖像(1815年、ジョセフ・ウィリアム・メラー作)

パターン。この曲はアダージョやアンダンテといった純粹な緩徐楽章が置かれていない点も特徴ですが、同楽章はそれに近い意味合いを持った部分です。曲は、前記リズムが全編にわたって奏される、短調の哀愁を帯びた音楽。ただし中間部は長調の明るめの楽想に変わります。「不滅のアレグレット」とも呼ばれる名楽章で、初演時にはアンコール演奏されました。

交響曲の終楽章では珍しい変奏曲

締めくくりは**交響曲第3番『英雄』より第4楽章**。中期の入り口にあたる1804年に完成された『英雄』は、従来にない巨大さで交響曲の歴史を変えた作品です。この曲は、「貧困層から出て王制に戦いを挑んだナポレオンへの共感から作曲されたが、彼が皇帝に即位したのを聞いたベートーヴェンは激高。



交響曲第3番『英雄』のスコアの表紙

『あの男も権力を得ただけの俗物だった』と叫んで、スコアに記した献辞を激しく掻き消し、新たに『ある英雄の思い出に捧げる』と書いた」との逸話で有名です。ただし、どこまでナポレオンを意識して書かれたのかは不明。自らイタリア語で英雄を意味する「エロイカ」と記しているだけに、“英雄的”な要素が含まれているのは確実ですが、もっと象徴的にとらえる見方もなされています。いずれにせよ、ベートーヴェンの新境地へ挑む強い意志を反映した意欲作で、各楽章にも画期的な要素が盛り込まれています。

第4楽章(フィナーレ、アレグロ・モルト)は、自由な変奏曲。交響曲の終楽章での変奏曲の採用は珍しく、雪崩を思わせる斬新な出だしも印象的です。続く主題はバレエ音楽『プロメテウスの創造物』から採られたもの。最初に低音の伴奏部分、次いで主旋律が変奏されるという凝った作りがなされています。そして動的な音楽が展開され、一旦穏やかになった後、堂々と結ばれます。

しばた・かつひこ(音楽ライター)／音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、Web、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)、「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」(音楽之友社)。

第19回

渋谷の 午後のコンサート。

2023.9.18(月・祝) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Mon./Holiday Sep. 18, 2023, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

〈秋の大感謝祭〉 〈Autumn Thanksgiving Festival〉

指揮とお話 角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

ゲスト(ピアノ) 園田隆一郎* Ryuichiro Sonoda, guest(piano)

三ツ橋敬子* Keiko Mitsuhashi, guest(piano)

コンサートマスター 近藤 薫 Kaoru Kondo, concertmaster

ベルリオーズ：序曲『ローマの謝肉祭』(約10分)

Berlioz: Roman Carnival Overture (ca. 10 min)

サン＝サーンス：組曲『動物の謝肉祭』* (約25分)

Saint-Saëns: The Carnival of the Animals (Le Carnaval des animaux) (ca. 25 min)

— 休憩 intermission —

レスピーギ：交響詩『ローマの祭』(約25分)

Respighi: Roman Festivals (ca. 25 min)

外山雄三：管弦楽のためのラブソディ(約7分)

Yuzo Toyama: Rhapsody for Orchestra (ca. 7 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

協力：Bunkamura / In Association with Bunkamura

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話 角田鋼亮

Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団等と共演している。大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者のポジションを歴任。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者を務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓けている。2019年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、2020年「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。
<https://www.kosuketsunoda.com/>



©Hikaru Hoshi

ゲスト(ピアノ) 園田隆一郎

Ryuichiro Sonoda, guest(piano)

東京藝術大学音楽学部指揮科、同大学大学院を修了。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねる。2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。令和4年度(第73回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。



©Fabio Parenzan

ゲスト(ピアノ) 三ツ橋敬子

Keiko Mitsuhashi, guest(piano)

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。併せて聴衆賞、ペドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝いた。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。一級小型船舶操縦士。



©Earl Ross

プログラム・ノート

解説＝飯尾洋一

時空を超えた“祭”を巡る旅

本日の公演は祭をテーマにした名曲を集めています。ベルリオーズが作曲したのは序曲『ローマの謝肉祭』。ルネサンス期のローマに思いを馳せた華麗な音楽です。一方、サン＝サーンスは組曲『動物の謝肉祭』で、動物たちの楽しいパレードをユーモラスに表現しました。なかには一風変わった登場人物も。レスピーギは交響詩『ローマの祭』で古代から現代に至る4つの祭を描きます。時を超えて祭を巡る旅とでも言えるでしょうか。おしまいは外山雄三作曲の「管弦楽のためのラプソディ」。こちらは日本の祭です。「ソーラン節」「炭坑節」「八木節」など、私たちにとってなじみ深いメロディが奏でられます。

ちなみに『動物の謝肉祭』でふたりのピアニストを務めるのは、園田隆一郎と三ツ橋敬子。ふだんは指揮者として活躍するおふたりです。本日のマエストロ、角田鋼亮とは同窓、同級の間柄なのとか。舞台上に指揮者が3人もそろうのは珍しい光景ですね。



マエストロ角田を中心に3人の気鋭の指揮者による豪華共演！〈秋の大感謝祭〉をどうぞお楽しみください

謝肉祭の熱気を伝えるベルリオーズの人気作

「ローマは私の知るなかで、もっともばかばかしく、うんざりする街である。頭や心を持つ人のいるべきところではない」

ローマを訪れたフランスの作曲家**エクトル・ベルリオーズ** (1803-1869) はそんな辛辣な言葉を残しています。ローマの街に失望したベルリオーズでしたが、代わって彼を魅了したのはルネサンス期イタリアの彫金師ベンヴェヌート・チェッリーニの自叙伝でした。自叙伝を読んで感激したベルリオーズは、これを題材にしたオペラを作ろうと考え、16世紀のローマの謝肉祭を背景としたオペラ『ベンヴェヌート・チェッリーニ』を書きあげます。初演は1838年、パリ・オペラ座にて。ところがこのオペラは聴衆の趣味に合わず、散々な失敗に終わってしまい、ベルリオーズは「拷問台にかけられた」ような苦しみを味わいます。

ベルリオーズ本人にとって、このオペラは「おそらく二度と見出しえないような多様な楽想とエネルギー、豊かさ、輝かしい色彩を含んでいる」と述べるほどの自信作でした。そこで、ベルリオーズは『ベンヴェヌート・チェッリーニ』で用いた素材を転用して、**序曲『ローマの謝肉祭』**に仕立てます。作曲者自身の指揮によりパリで行われた初演はアンコールを求められるほどの大成功に。以来、ベルリオーズの人気作として、現在でも高い人気を誇っています。

曲は謝肉祭の興奮を伝えるかのように勢いよく開始され、これに夢想的な愛の主題が続きます。やがて祭の情景に転じ、陽気で熱気にあふれた楽想が展開されます。



フィレンツェにあるベンヴェヌート・チェッリーニの像 ©stock.adobe.com

9/18

渋谷の
午後の「コンサート」

悪ノリ気味のユーモアと遊び心溢れる組曲

19世紀のフランスの音楽界をリードした大作曲家が**カミーユ・サン＝サーンス** (1835-1921) です。交響曲や室内楽曲、ピアノ曲、オペラなど、さまざまな分野に多数の作品を残していますが、その中でもっとも親しまれているのは**組曲『動物の謝肉祭』**でしょう。



といっても、サン＝サーンスは生前、『動物の謝肉祭』を公開で演奏することを固く禁じていました（「白鳥」だけは例外です）。この曲は1886年、知人が開いたプライベートな演奏会のために書かれたもので、当時のほかの作曲家のパロディを含むなど、悪ノリ気味のユーモアが散りばめられていました。おそらくサン＝サーンスは公にするにはふさわしくないジョーク集とみなしたのでしょう。

第1曲 序曲と獅子王の行進 百獣の王が誇らしげに行進します。

第2曲 雄鶏と雌鶏 コッココツツ……コケコッコー！の鳴き声が聞こえます。

第3曲 驃馬 曲名は本来「アジアノロバ」のこと。ピアノふたりの高速かけっこ。

第4曲 亀 「フレンチカンカン」を超スローモーションで。

第5曲 象 巨体の象が踊るワルツ。

第6曲 カンガルー ぴょんぴょんと跳ねるかのよう。

第7曲 水族館 ゆらゆらと魚たちが泳ぐ神秘的な光景。

第8曲 耳の長い登場人物 ロバ、あるいは特定の音楽評論家への皮肉という説も。

第9曲 森の奥のカッコウ 遠くから聞こえるカッコウの鳴き声。

第10曲 大きな鳥籠 縦横無尽に飛び回る小鳥たち。

第11曲 ピアニスト これも動物!? 下手なピアニストを描写。

第12曲 化石 もう生きていない動物。恐竜の化石。

第13曲 白鳥 優美な白鳥の姿をチェロが表現。

第14曲 終曲 みんなそろって愉快的気分で幕。

古代から現代までのローマの祭を描き出す交響詩

イタリアのボローニャに生まれた作曲家**オットリーノ・レスピーギ**(1879-1936)は、1913年にローマのサンタ・チェチーリア音楽院の作曲科教授に就任しました。ローマの遺跡や伝統文化に惹かれたレスピーギは、この街にインスピレーションを得て、交響詩『ローマの噴水』『ローマの松』『ローマの祭』なる「ローマ三部作」を作曲しました。いずれの作品にもレスピーギならではの色彩感豊かなオーケストレーションが施されています。1928年、三部作の最後に書かれたのが**交響詩『ローマの祭』**。三作のなかでもとりわけ華やかで描写的な作品です。



第1曲 チルチェンセス 舞台は古代ローマ時代の円形競技場。キリスト教徒と飢えた猛獣を戦わせる残忍な見世物が行われています。ファンファーレが鳴り、熱狂する市民たち。聖歌が聞こえます。祈りもむなしく、キリスト教徒は猛獣の餌食にされます。

第2曲 50年祭 巡礼者たちが街道をゆっくりと歩いています。目指すはローマ。50年ごとの聖年祭では、教皇がローマ巡礼者に特別の赦しを与えるのです。モンテマリオの丘を登った巡礼者たちはローマを目にして賛歌を歌い、これに鐘の音が応えます。

第3曲 10月祭 ローマ東南のカステッリ・ロマーニはワインの産地として知られています。ぶどうの収穫祭がにぎやかに開かれます。中盤でマンドリンが奏でるのは夕べのセレナーデ。甘くけだるい愛の音楽が続きます。



カステッリ・ロマーニ地方の町カステル・ガンドルフとアルバーノ湖の景観

©stock.adobe.com

9/18

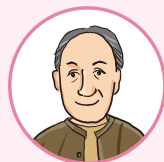
渋谷の
午後の「コンサート」

第4曲 公現祭 ナヴォーナ広場は公現祭の前夜。人々は羽目を外して大騒ぎ。物売りの声や手回しオルガン、酔っぱらいの歌、民衆歌が入り乱れ、狂騒のフィナーレを迎えます。

9/18

日本人におなじみのメロディが次々と現れる管弦楽曲

今年7月、指揮者として、また作曲家として戦後日本の音楽界を率いた**外山雄三**（1931-2023）が92歳で世を去りました。作曲家としての代表作として挙げられるのが「**管弦楽のためのラブソディ**」。1960年、NHK交響楽団が世界一周の海外演奏旅行を敢行した際に、アンコール・ピースとして作曲されました。



日本の民謡を素材として用いたこの作品は各地で好評を博し、以来、日本のオーケストラが海外公演でしばしば演奏する定番曲となっています。また、学校などの音楽鑑賞教室でも広く演奏されています。

西洋楽器によるオーケストラに、拍子木や和太鼓など日本の音が加わって、日本人ならだれもが知るおなじみのメロディが次々と登場します。拍子木などの打楽器を主体とする活発な序奏に続いて、トランペットによる「**あんたがたどこさ**」が姿をあらわします。これに加わるのが「**ソーラン節**」「**炭坑節**」「**串本節**」。いったん曲が静まり、鈴の音が鳴らされると、フルートによる「**追分節**」が続きます。ふたたび拍子木が打たれると、威勢よく「**八木節**」が始まって、エネルギッシュなクライマックスを築きます。

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 はじめてのクラシック』監修（朝日新聞出版）、『クラシックBOOK』（三笠書房）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

今回の午後のコンサート

お客様の質問募集中!



第20回 渋谷の午後のコンサート
11月5日(日) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

〈なんでもOKストラ!!〉

指揮とお話: 円光寺雅彦
ピアノ: 清塚信也*



第32回 平日の午後のコンサート
11月6日(月) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

グリーンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番より第2楽章*
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番『皇帝』より第3楽章*
チャイコフスキー／『くるみ割り人形』より“金平糖の踊り”
ラヴェル／ボレロ



第99回 休日の午後のコンサート
12月3日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈クリスマス in ニューヨーク〉

指揮とお話: 円光寺雅彦
ヴァイオリン: 廣津留すみれ*

アンダーソン／舞踏会の美女
モンティ／チャールダーシュ*
エルガー／愛のあいさつ*
サラサーテ／ツイゴイネルワイゼン*
ワルトイフェル／スケターズ・ワルツ
チャイコフスキー／バレエ組曲『くるみ割り人形』



円光寺雅彦
©K. Miura

円光寺雅彦 桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を齋藤秀雄氏、ウィーンでオトマル・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではブラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、フルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。



清塚信也
©Yuji Takeuchi

清塚信也 5歳よりクラシックピアノの英才教育を受け、桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後、モスクワ音楽院に留学。国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ『のだめカンタービレ』で玉木宏演じる「千秋真一」の吹き替え演奏を担当、映画『さよならドビュッシー』で俳優デビュー。映画、舞台、TVドラマ等で劇中音楽を手掛けるなど、作曲家として活動の幅を広げるほか、ピアニストとして次々と新しいフィールドへの挑戦を続け、常に話題と注目を集めている。



廣津留すみれ
©Ryudo Kurokawa

廣津留すみれ 大分市出身。ハーバード大学(学士)とジュリアード音楽院(修士)を卒業。世界的チェリストのヨーヨー・マと度々の共演を経て、米国にて演奏活動を拡大。講演演奏会や地元大分での英語セミナーなど演奏の傍ら多方面で活躍中。成蹊大学客員講師、国際教養大学特任准教授。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』(KADOKAWA) など多数。2022年2月にファーストCD「メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲+シャコンス」をリリース。

お申込み・お問合せは東京フィルチケットサービスまで

午後のコンサート 2023シーズンのラインナップ

「午後のコンサート」2023シーズンは、4回セット券でご来場されるお客様が3シリーズで9割を超え、シーズンを通してオーケストラの名曲と音楽家のとっておきのお話をお楽しみいただいております。いよいよ次回はシーズン最終公演。皆様のご来場をお待ちしております。

渋谷の午後のコンサート 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00

11月5日(日) 第20回

〈なんでもOKストラ!!〉

※11月6日「平日の午後のコンサート」と同演目です。

指揮とお話: 円光寺雅彦

ピアノ: 清塚信也

1回券
発売中



©三浦興一 ©Yuji Takeuchi

平日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

11月6日(月) 第32回

〈なんでもOKストラ!!〉

※11月5日「渋谷の午後のコンサート」と同演目です。

指揮とお話: 円光寺雅彦

ピアノ: 清塚信也

1回券
発売中



©三浦興一 ©Yuji Takeuchi

休日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

12月3日(日) 第99回

〈クリスマス in ニューヨーク〉

※曲目等詳細は前ページをご参照ください

指揮とお話: 円光寺雅彦

ヴァイオリン: 廣津留すみれ

1回券
発売中



©K.Miura ©Ryuto Kurokawa

午後のコンサート 2023シーズンの11月・12月公演1回券の発売スケジュール

最優先(賛助会員様、定期会員様)／優先(東京フィルフレンズ会員様)		発売中		
優先(WEB優先発売)		9/4(月)23:59まで発売中		
一般発売		9/5(火)10:00より		
チケット料金	S席	A席	B席	C席
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ会員)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券は4回セット券の販売後、残席ある場合のみ販売いたします。

すでに残席が少ないシリーズやセット券で完売している席種もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時～18時／土日祝休 発売日の土日祝のみ10時～16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



News & Information

今年の『第九』特別演奏会の概要が決定しました。

今年の12/22(金)、12/23(土)、12/24(日)に開催いたします「ベートーヴェン『第九』特別演奏会」の出演者が決定しました。現在、好評発売中です。

日時・会場

12月22日(金) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

12月23日(土) 19:00開演
サントリーホール

12月24日(日) 15:00開演
Bunkamura オーチャードホール

出演 指揮: 出口大地

ソプラノ: 光岡暁恵

アルト: 中島郁子

テノール: 清水徹太郎

バリトン: 上江隼人

合唱: 新国立劇場合唱団(合唱指揮: 水戸博之)

曲目 ベートーヴェン／『献堂式』序曲、交響曲第9番『合唱付』

料金(税込) S席¥11,000 A席¥8,800 B席¥6,600 C席¥4,400

発売日

最優先(賛助会員様・定期会員様)／優先(東京フィルフレンズ会員様) 発売中

WEB優先販売 発売中～9月4日(月)23:59まで

一般発売日 9月5日(火)10:00～

※東京フィルフレンズ会員様は10%割引(お電話のみの受付)

※WEB優先販売期間中はどなた様もインターネットからのお申込みで10%割引

協賛 楽天グループ株式会社(12/23)、楽天カード株式会社(12/24)

協力 Bunkamura(12/24)



お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時～18時／土日祝休 発売日の土日祝のみ10時～16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>



2023シーズン 今後の定期演奏会

112年目を迎えた東京フィルの2023シーズン定期演奏会、当楽団が誇るマエストロたちと次代を担う音楽家たちとともに大好評開催中です。10月はフランスの新星クロエ・デュフレーヌによるフランス・プログラム、11月は首席指揮者アンドレア・バッティストーニによる、オール・チャイコフスキー・プログラムです。お聴き逃しなく！

10
月

指揮: **クロエ・デュフレーヌ**

(2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞)

ヴァイオリン: **中野りな***

(2022年仙台国際音楽コンクール優勝)

第157回 10月18日(水) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第990回 10月19日(木) 19:00

サントリーホール

第991回 10月22日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

リリ・ブーランジェ／春の朝に

(リリ・ブーランジェ生誕130年)

サン＝サーンス／

ヴァイオリン協奏曲第3番*

ベルリオーズ／幻想交響曲



聴きどころは
こちらから

1回券発売中

11
月

指揮:

アンドレア・バッティストーニ

(首席指揮者)

チェロ: **佐藤晴真***

(2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

第992回 11月10日(金) 19:00

サントリーホール

第993回 11月12日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

第158回 11月16日(木) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

チャイコフスキー／

幻想曲『テンペスト』

ロココの主題による変奏曲*

幻想序曲『ハムレット』

幻想序曲『ロメオとジュリエット』

(チャイコフスキー没後130年)



聴きどころは
こちらから

1回券発売中

チケット料金(税込/全席指定) ※残席状況はお問い合わせください

SS¥15,000 S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000 C¥5,500

東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます(SS席を除く／お電話のみ)。

お問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel **03-5353-9522** (平日10時～18時・土日祝日休／
発売日の土日祝は10時～16時)

URL **www.tpo.or.jp/** (24時間受付・座席選択可)

詳細は



10月定期ききどころ

2020年東京オリンピックの閉会式でのフランス大会のプレゼンテーションで、国歌ラ・マルセイエーズを演奏するビデオが映し出され、一挙に日本人々に知られるようになったクロエ・デュフレーヌ。ブザンソン国際指揮者コンクールでは、聴衆賞、オーケストラ賞、審査員特別賞を受賞。現在グスターボ・ドゥダメルのアシスタントを務めるなど、注目度が急激に高まっている。

取材・文＝岡田ヴィクトリア朋子（音楽ジャーナリスト）



©Capucine de Chocqueuse

クロエ・デュフレーヌ、東京フィル指揮で日本に初登場

東京フィルの10月定期演奏会で日本デビューを飾る彼女。フランス音楽プログラムで注目なのはリリ・ブーランジェの『春の朝に』だろう。5分ほどの小曲だが「みずみずしい息吹にあふれた秀作。自然を扱ったテーマは日本文化にある自然への慈しみと通ずるものがあるので、日本の方々にも好んでいただけるのでは」と語る。日本人には、感情をあからさまにはしないが内面的な強さを持っているというイメージがあり、それはラテン気質で物事を本能的に感じ取るという彼女自身の性格とは反対なので、それがどのように音楽に映し出されていくのかが楽しみだ、と語った。ベルリオズの『幻想交響曲』では、「一方的に観点を押し付けるのではなく、自分の感性を通じて、見方、感じ方を分かち合いたい」と抱負を語る。それは、中野りななどの初顔合わせとなるサン＝サーンスの「ヴァイオリン協奏曲第3番」でも同じ。「フランス音楽は自分のアイデンティティーをつくっている重要な要素なので、これを存分に日本の皆様に聴いていただけたら」と、日本公演を大いに心待ちにしている様子が印象的だった。（全文は特設ページにて公開中!）

東京フィルだよ

10月の定期演奏会

10月18日(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
10月19日(木) 19:00
ザントリーホール
10月22日(日) 15:00
Bunkamura
オーチャードホール

10月特設
ページ



指揮：クロエ・デュフレーヌ

(2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞)

ヴァイオリン：中野りな*

(2022年仙台国際音楽コンクール優勝)

リリ・ブーランジェ／

春の朝に(リリ・ブーランジェ生誕130年)

サン＝サーンス／

ヴァイオリン協奏曲第3番*

ベルリオズ／幻想交響曲



中野りな
@Mskimichiko



バッティストーニ チャイコフスキーは、シェイクスピアの戯曲のストーリーを順を追って辿っているわけではありませんね。私のイメージでは、物語を読んで、いくつかのシチュエーションを絵画的に捉えたときに頭に残るのは、人物や、たとえば真夜中の墓場といった特定の場面です。『ハムレット』の楽曲の中で王子ハムレットのキャラクターやオフィーリアの優しさを感じたり、トランペットのメロディでマーチを感じるとか、そういったことはありますが、ストーリーを物語るということはないと思います。音楽で物語を語るというのは難しいと思うのです。

松岡 そうですね。同じチャイコフスキーで同じシェイクスピアから素材をとっていても、聴いている私はどちらかというと、**幻想曲『テンペスト』**からは絵(場面)が浮かんできたんです。だけど、**幻想序曲『ロメオとジュリエット』**の場合は「ストライフ(strife)」…騒乱の中を2人の愛の気持ちが流れていく、という感じがありました。で、**幻想序曲『ハムレット』**はというと不思議なことにあまり絵が浮かばなくて、むしろハムレットという人格の中で、あれこれ考えたり落ち込んだり……。

バッティストーニ ええ、私もそう感じます。物語を知っていると、より「ああ、これがインスピレーションの元だったんじゃないか」と、知れば知るほど発見できるというような。これは、チャイコフスキーがまるで演出家みたいのにこの3つの作品の解釈を提示しているということでもありますよね。「どこにスポットライトを当てようか」とか、こういうキャラクターやシチュエーションを描こう、とか。シェイクスピアがどこに一番深く感じて書いたのかといった場面に、チャイコフスキーも光を当てて書いているけれど、もしかすると、それはチャイコフスキーの個人的な感性で感じたところかもしれません。(全文は特設ページにて公開中!)

11月の定期演奏会

11月10日(金)19:00

サントリーホール

11月12日(日)15:00

Bunkamura オーチャードホール

11月16日(木)19:00

東京オペラシティ コンサートホール



11月特設ページ

指揮: アンドレア・バッティストーニ(東京フィル首席指揮者)

チェロ: 佐藤晴真* (2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

チャイコフスキー／

幻想曲『テンペスト』

ロココの主題による変奏曲*

幻想序曲『ハムレット』

幻想序曲『ロメオとジュリエット』

(チャイコフスキー没後130年)



佐藤晴真
©Seiji Sato

Photo Reports 2023年7月・8月の演奏会より

7月～8月の東京フィルも盛りだくさん。人気シリーズ「午後のコンサート」3公演、文京シビックホールでの「響きの森クラシック・シリーズ」の再開、2023シーズン最大の聴きものである名誉音楽監督チョン・ミョンフンのオペラ演奏会形式『オテロ』、そして8月15日恒例の「ハートフルコンサート」と、多くのお客様にお越しいただきました。

写真＝三浦興一（7/8）、上野隆文（7月定期、8/15）

第30回 平日の午後のコンサート(7/6)
第18回 渋谷の午後のコンサート(7/9)
〈コパケン・クライマックス〉

指揮とお話：小林研一郎

ピアノ：中川優芽花(7/6)*

ヴァイオリン：服部百音(7/9)**

ナビゲーター：朝岡聡(7/6)

コンサートマスター：三浦章宏



7月の「午後コン」はマエストロ・コパケンの“十八番”オール・チャイコフスキー・プログラム

チャイコフスキー／

歌劇『エフゲニー・オネーギン』より

ポロネーズ

ピアノ協奏曲第1番より第1楽章(7/6)*

【ソリスト・アンコール】ドビュッシー／月の光
(7/6)

ヴァイオリン協奏曲より第1楽章(7/9)**

交響曲第4番より第1楽章

交響曲第6番『悲愴』より第2楽章

交響曲第5番より第4楽章



初登場の俊英・中川優芽花さんは初々しいお話とともに確かな演奏を聴かせてくれました



服部百音さんはチャイコフスキーの名曲「ヴァイオリン協奏曲」で渾身の演奏

響きの森クラシック・シリーズ Vol. 76 (7/8)

指揮：小林研一郎

ヴァイオリン：服部百音*

コンサートマスター：三浦章宏

チャイコフスキー／

歌劇『エフゲニー・オネーギン』より

ポロネーズ

ヴァイオリン協奏曲*

交響曲第5番



文京シビックホールのリニューアル工事に伴う休館を経て、7月「響きの森クラシック・シリーズ」が2年ぶりに再開。“シリーズの顔”とも言えるマエストロ・コパケンのもとオール・チャイコフスキーをお届けしました

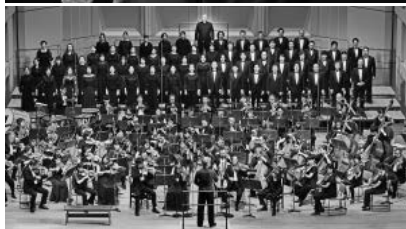
7月定期演奏会 (7/23、27、31)

指揮：チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)
オテロ(テノール)：グレゴリー・クンデ
デズデーモナ(ソプラノ)：小林厚子
イアーゴ(バリトン)：ダリボール・イエニス
ロドヴィーコ(バス)：相沢 創
カッシオ(テノール)：
フランチェスコ・マルシーリア
エミーリア(メゾ・ソプラノ)：中島郁子
ロデリーゴ(テノール)：村上敏明
モンターノ(バス)：青山 貴
伝令(バス)：タン・ジュンボ
合唱：新国立劇場合唱団
(合唱指揮：富平恭平)
コンサートマスター：近藤薫

舞台監督：蒲倉 潤(アートクリエイション) / 舞台監督助手：井坂 舞、小田藍乃、三浦奈綾 / 照明：稲葉直人(A.S.G.) / 音響：青木 央(フィガロ サウンドワークス) / 衣裳・小道具：アートクリエイション、東京衣裳 / 字幕：本谷麻子 / 字幕操作：藤原彩加(Zimakuプラス) / カヴァー：山下裕賀(エミーリア) / 副指揮：河原哲也 / 音楽スタッフ：古瀬安子、山中麻鈴

ヴェルディ／
歌劇『オテロ』(オペラ演奏会形式)

全4幕・日本語字幕付き原語(イタリア語)上演 / 原作：ウィリアム・シェイクスピア『オセロー』 / 台本：アッリーゴ・ボーイト



2022年10月の『ファルスタッフ』に続き、ヴェルディの傑作『オテロ』を演奏会形式で上演。題名役は“オテロ歌い”として世界的に著名なテノール、グレゴリー・クンデが担いました



オテロを妬むイアーゴの策略により物語は悲劇へ



最終公演、サントリーホールでのカーテンコールより

フェスタサマーミュージザKAWASAKI (8/2)

指揮：出口大地 ピアノ：清水和音*
コンサートマスター：依田真宣

ハチャトゥリアン／

劇音楽『仮面舞踏会』より“ワルツ”
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
ベルリオーズ／幻想交響曲

第31回 平日の午後のコンサート〈真夏の午後の夢〉
(8/7)

指揮：出口大地 ピアノ：清水和音*
コンサートマスター：依田真宣

ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』より“ワルツ”
“ノクターン” “ギャロップ”

グリーグ／ピアノ協奏曲より第1楽章*

【ソリスト・アンコール】ショパン／ノクターン第10番
作品32-2

ベルリオーズ／幻想交響曲より

第2楽章「舞踏会」、第4楽章「断頭台への行進」

第5楽章「ワルブルギスの夜の夢」

【オーケストラ・アンコール】ハチャトゥリアン／劇音楽
『仮面舞踏会』より“マズルカ”



気鋭のマエストロ出口大地と、巨匠ピアニスト清水和音さんとの共演で「真夏の午後の夢」をテーマにお届け。マエストロ出口は今年の東京フィル『第九』公演にも登場します

ハートフル コンサート2023 (8/15)

お話：黒柳徹子(東京フィル副理事長、女優・ユニセフ親善大使)
ゲスト(歌)：森山良子* / 指揮：円光寺雅彦
コンサートマスター：依田真宣

エルガー／行進曲『威風堂々』第1番

ヴォルフ＝フェラーリ／歌劇『マドンナの宝石』間奏曲

J.S.バッハ／グノー編／アヴェ・マリア*

森山良子作詞・BEGIN作曲／涙そうそう*

御徒町風作詞・森山直太郎作曲／今*

寺島尚彦／さとうきび畑*

ストラヴィンスキー／バレエ音楽『火の鳥』(1919年版)

【アンコール】ジョン・レノン／イマジン



東京フィル副理事長・女優・ユニセフ親善大使の黒柳徹子とゲストの森山良子さん。森山さんの歌声の秘密など楽しいお話や、黒柳のアフリカ訪問中の出来事などが語られました



8月15日恒例の「ハートフルコンサート」は33回目を数え、たくさんのお客様がご来場くださいました

ハチャトゥリアンの『剣の舞』と
ドヴォルザークの『新世界より』東京大仏 乗蓮寺 住職
若林 隆壽

東京フィルゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第19回は、住職として寺院を経営しつつ、長年、災害被災地やフリースクール等の支援活動に携わっておられる若林隆壽様です。後援会員として東京フィルをご支援くださっています。小学生時代のお父上との思い出を綴ってくださいました。

1963年2月、旧ソビエト連邦の作曲家、アラム・ハチャトゥリアンが、名ヴァイオリニストのレオニード・コーガンと共に来日し、自身の作品を自ら指揮するというコンサートが開かれました。61年4月に開館したばかりの東京文化会館で、(記憶に間違いがなければ)アンコール曲として演奏されたのが、バレエ『ガイーヌ』最終幕の楽曲『剣の舞』でした。圧倒的なスピード感はもちろんのこと、まだ小学2年生だった私が見惚れたのはハチャトゥリアンのダイナミックな指揮でした。その日を境に頭の中には『剣の舞』が鳴り響き、タクト代わりの菜箸を、両親があきれるほどに振り続けていたことをはっきりと覚えています。生の指揮と演奏とを、父と並びの席で目の当たりにした瞬間が、クラシック音楽との出会いだったのです。

次のエポック・メイキングは、1964年3月に我が家にステレオがやってきたことでした。64年はアジアで初めての、前回の「東京オリンピック」が開催された年であり、当時は1ドル=360円の固定相場制で、海外もそしてステレオもまだまだ遠い存在の時代でした。

その時父が買い与えてくれたのは、セントラル・パークを背景に聳え立つ摩天楼が未知の世界への憧れをかき立てるジャケットの、

小学生の時から60年近く大切に
してこられた、ドヴォザーク『新
世界より』、スメタナ『モルダウ』
のLPレコード。
ラベルの「ステレオ・フォニック」
の文字が、往時の「ステレオ」の
目新しさを物語っています。



ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団演奏、ド
ヴォルザークの交響曲第9番(当時は第5番)『新世界より』のLPでした。レコード
盤に慎重に針を置き、左右のスピーカーの中央に座って演奏の開始を待ちます。

第1楽章、郷愁に満ちたチェロの旋律から印象的なホルンの主題、第2楽章の
「家路」、第3楽章の情熱的なスケルツォを経て、トランペットとトロンボーンによる
壮大な第4楽章へと向かう高揚感。その時覚えた全宇宙を前に独り立ったような
不思議な感覚は、幼いながらも深く心に刻まれました。

私が育った浅草の寺は、1945年3月の「東京大空襲」で灰燼に帰し、戦後は全
くのゼロからのスタートでした。1956年の生まれの私は本当の苦しい時期を経
験した訳ではありませんが、そんな境遇でありながら、少年時代から優れた音楽
に触れる機会を与えてくれた父には今でも感謝しています。

私が20年以上東京フィルの後援を続けている一番の理由は、毎年8月15日の
「終戦記念日」に「家族で平和を考える」をコンセプトに開催される「ハートフル
コンサート」、とても解りやすい『楽しいオーケストラ図鑑』(小学館)の発行、さら
に、青少年対象の巡回公演など、子どもから大人まで楽しめるプログラムが充実
していることにあります。今後も、小さいうちから「本物」を聴くことのできる場を
提供し続けていただきたいと願っています。

若林隆壽(わかばやし・りゅうじゅ)／1956年東京生まれ。東京大仏乗蓮寺を始め4ヶ寺の住職。浄
土宗特任布教師。浄土宗総本山知恩院顧問。大本山増上寺布教師会常務理事。一般社団法人茶
道裏千家淡交会東京第二東支部支部長。公益財団法人鎌倉能舞台理事。防災士。趣味は写真撮影
(柴田昌勝門下)。

乗蓮寺の東京大仏は、悲惨な震災や震災が起きないようにとの願いを込めて、1977年4月に建立さ
れた露座の大仏(阿弥陀如来)。東京都選出の「新東京百景」の一つ。

秋晴の候、皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと存じます。
 今月は、ベートーヴェンの不朽の名曲や
 〈秋の大感謝祭〉と題し東西の「祭」にまつわる楽曲をお届けいたします。
 マエストロのお話と共にぜひお楽しみください。
 引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
 ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
 改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 社長 COO 兼 CFO	十時 裕樹
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)III 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役社長 CEO 兼 CHRO 増田 裕一
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 有吉 伸人	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 社長 COO 兼 CFO 十時 裕樹

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 高橋 薫

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 堀江 正博

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 大矢 光雄

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレルソ たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)康明会
理事長 遠藤 正樹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一財)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

(株)ネスト
代表取締役 太田 潤

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年(明治44年)に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いっそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(次ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行(郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521(土日祝日を除く10時～18時)

東京フィル 賛助会 会員募集中

2023年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立112年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後とも社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
パートナー会員	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「ご支援カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野^{かのまた}・鹿丈)

電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演事業)」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度の「文化芸術による子供育成推進事業」では、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受けました。今年度も6月から12月にかけて、小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催しております。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- ・ 周年事業や記念イベントとして大切なお客様を招待したコンサートを開きたい
- ・ 商品や新事業のプロモーションとして何か施策を考えたい
- ・ 式典や学会などでの演奏を企画したい
- ・ 社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- ・ 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- ・ 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて



主催公演のロビーでは東京フィルへのご支援についての資料をお配りしています

【広告・協賛のお問合せ】 東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

当団の実施する新型コロナウイルス感染症予防対策について

- ・ 会場内でのマスク着脱はお客様ご自身の判断に委ねます。
 - ・ 会場内でブラボー等の声援をされるお客様にはマスクの着用を推奨いたします。
 - ・ 発熱等の体調不良のお客様にはご来場を控えていただきますようお願いいたします。
 - ・ 会場内では咳エチケットおよび手指消毒の実施をお願いいたします。
- 客席内は十分な換気を行っております。

ご協力、誠にありがとうございます。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

高平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	辻 姫子○ Himeko Tsuji	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	石川 浩 Hiroshi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	小笠原 茅乃 Kayano Ogasawara	岡村 彩香 Ayaka Okamura	大東 周 Shu Ohigashi	五箇 正明 Masaaki Goka	武田 基樹 Motoki Takeda
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	杉本 真木 Maki Sugimoto	木村 俊介 Shunsuke Kimura	山内 正博 Masahiro Yamauchi	
石川 剛 Go Ishikawa	小栗 亮太 Ryota Oguri	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	田場 英子 Eiko Taba	テューバ Tubas	ステージマネージャー Stage Managers
大内 麻央 Mao Ouchi	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	稲岡 宏司 Hiroshi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	豊田 万紀 Maki Toyoda	荻野 晋 Shin Ogino	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山内 研自 Kenji Yamanouchi	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	古谷 寛 Hiroshi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	中村 元優 Motomasa Nakamura	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto		
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa		鳥潟 さくら Sakura Torigata	トランペット Trumpets	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	川田 修一◎ Shuichi Kawata	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	秋田 孝訓 Takanori Akita	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	井村 裕美 Hiromi Imura	前田 寛人 Hirohito Maeda	中村 勇輝 Yuki Nakamura	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori		船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フオアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バティストニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, Tokyo Phil regularly performs both symphonies and operas. Tokyo Phil is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting Tokyo Phil since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

Tokyo Phil has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand musical agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

Tokyo Phil has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2023(令和5)年9月3日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

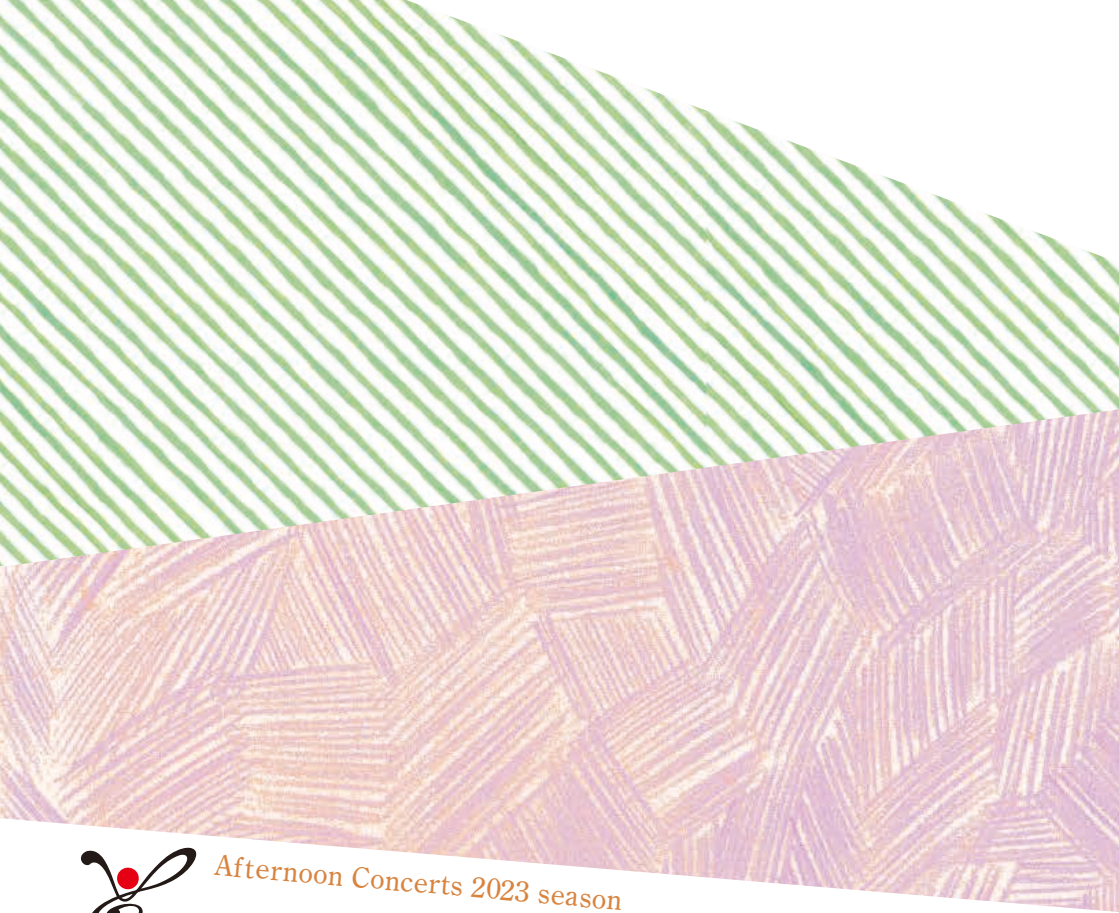
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Afternoon Concerts 2023 season

